

新型コロナウイルス感染症

施設内看護師派遣

2024/3/12

京都府健康福祉部高齢者支援課
看護師派遣

派遣活動期間 R4.12~R6.03

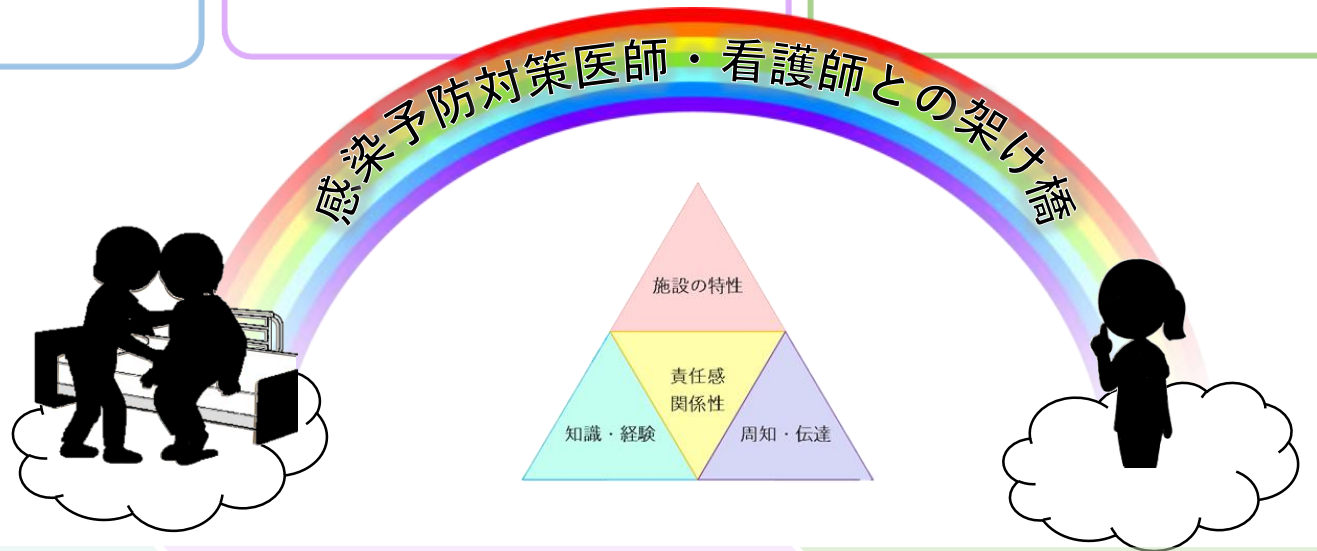
サポート支援訪問に同行
施設での検体採取
KISA2 隊に同行
↓
コロナ対応・治療
施設の特徴

開始して見えた課題
↓
現場の感染対策は困難
情報共有の重要性

継続した感染防御が
できるように
↓
シャドーイングを
開始

マニュアルの確認
↓
施設マニュアルを
元に感染対策補助

看護師の派遣事業を開始しました。



陽性利用者を中心に
看護、介護業務を実施

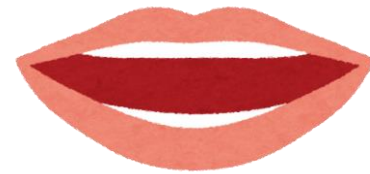
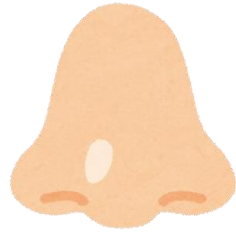
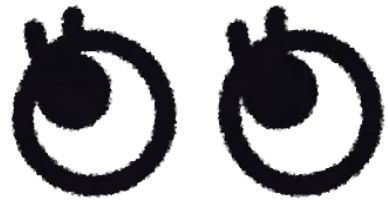
現場へ感染対策を直接伝達

現場職員ができるよう
一緒に業務

施設マニュアルに沿った
感染対策を実施

ウイルスの感染機序

ウイルスは目、鼻、口から侵入します



つまり 目、鼻、口を守れば大丈夫！



飛沫感染・空気感染（エアロゾル感染）



マスクを正しく着用
(できれば利用者も着用を)

利用者がマスクが出来ない場合
→マスク＋ゴーグル



サージカルマスクで遮断



ゴーグルで遮断



空気感染(エアロゾル感染)

A blue circle containing several virus particles has three arrows pointing to the right, indicating the spread of air infection.

N95マスクで遮断



換気で遮断



接触感染

手指消毒と流水手洗いで遮断

感染している人

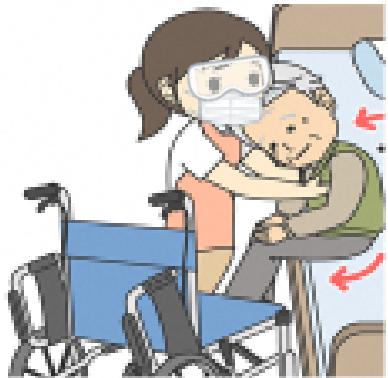


手に付着



感染

触れた手を手指消毒や手洗いをせず
目や鼻、口を触ってしまう

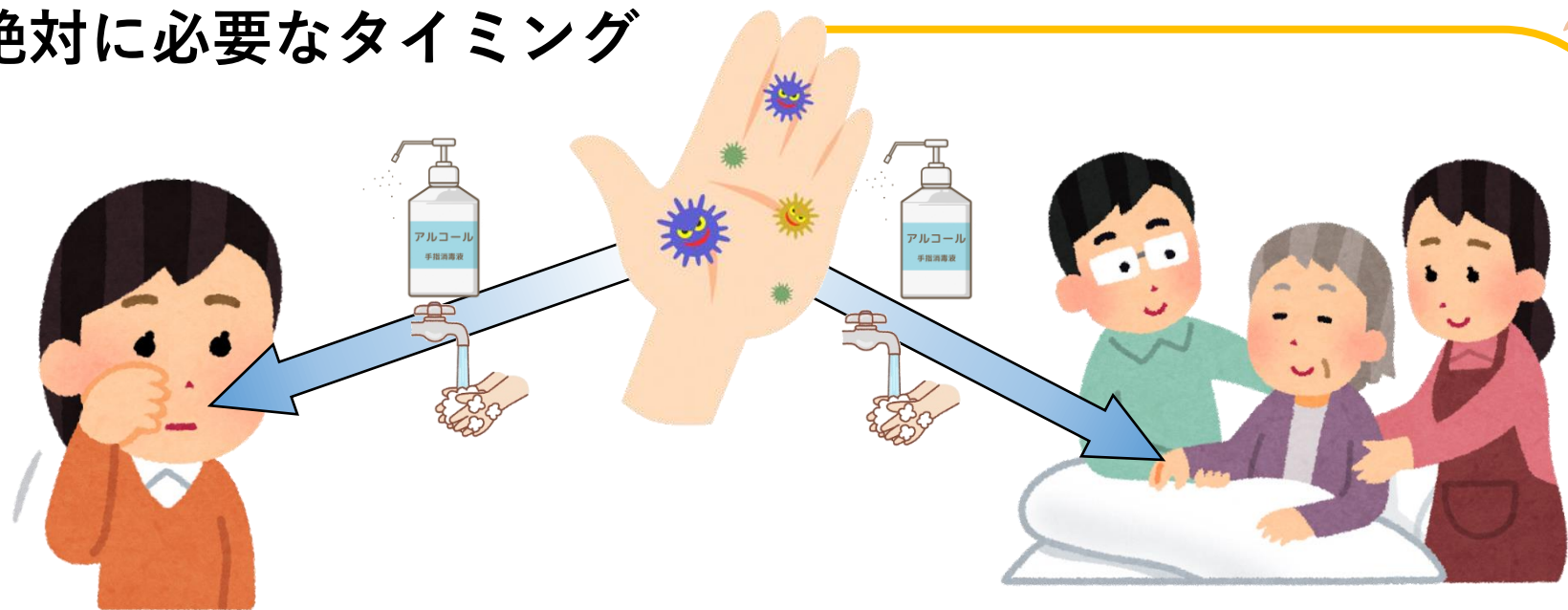


職員の手が広がっている ← 食い止めないといけない

「まず手洗い、手指消毒をしてください」

手指衛生

絶対に必要なタイミング



自分の顔に触れる前

利用者に触れる前

とっても難しい！

防護具について



あるある
防護具を着たまま → 洋服がウイルスで汚れるから
手袋を付けたまま → いつも付けてるから
防護具の使いまわし → ちょっと着ただけだし、勿体ない

1 防護具で多数の利用者に
接触することになる

防護具は
「体液から自分を守るため」に装着します。

必要な場面で必要な防護具を
選ぶ事が大切です。

付けっぱなしからも解放され
コストも削減にも繋がります。

密着する時に着る、
付ける、でいい！



掲示物についての説明

防護具を着衣する場所に貼ってください

N95マスクを付ける場合の掲示物です
N95の上からサージカルマスクをする場合の防護具セットです
※N95は咳がひどい人の対応や吸引をする時、
大声で話す人の対応で着用



サージカルマスクのみの場合の掲示物です
N95の適用でない時の防護具セットです



陽性者対応でも密接な身体接触がない、
ガウンが不要の場合の防護具セットです
例えば…配膳、声かけ、バイタルサイン測定など



陰性者の対応であっても目の保護のため、ゴーグルを着用すること



基本的な標準予防策の防護具セットです

おむつ交換、食事介助は袖無しエプロンを着けた方が望ましい
1人1交換が基本です。



ガウンの着脱

着る時



はじめに手指消毒



最後に手袋を装着

脱ぐ時



はじめに手袋を外す



顔回りの防護具を外す前に手指消毒



迷ったら  手指消毒 

ポイントを抑えて
覚えておけば
次も大丈夫！

ポイントの根拠は
こちらにあります



ガウンの脱ぎ方動画

手袋とガウンを一緒に脱ぐ動画



クラスターの流れ

管理

(コントロール)

防御

(コントロール)

評価

(コントロール)



意識

(コントロール)

維持

(コントロール)



マニュアルについて

5類移行後、施設マニュアルに注目して派遣活動を進めました。

どこに捨てるのかな？
〇〇さんが何か言ってたなあ。
など
現場スタッフさんは
意外と小さな事で
困っておられました。



あるある
マニュアルを現場職員が知らない
マニュアルがどこにあるか解らない
マニュアルと違う方法で業務している

施設の自立 = 感染症に強い施設

現場の声を取り入れ
実現可能
できるだけ具体的



マニュアルや
ルールの再確認
よろしく
お願いします

ご清聴ありがとうございました

